

社協だより

かしわ

2023年 初冬号 NO.94



講演会「生坂の災害を考える」

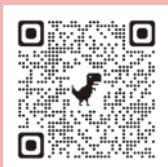
発行者：生坂村社会福祉協議会

TEL 69-3000 FAX 69-3091

印刷：有限会社花岡印刷

<http://www.ikusaka-shakyo.or.jp/>

E-mail: info@ikusaka-shakyo.or.jp



ホームページQRコード



社協だより「かしわ」は、共同募金の配分金で発行されています。

講演会「生坂の災害を考える」

10月1日(日)にB&G海洋センター2階会議室で、長野市社会福祉協議会の松岡伸樹氏を講師に迎え右記の講演会を開きました。

令和元年東日本台風災害で自らも被災した松岡氏の話は実感がこもっており、参加された村民の方々も真剣に耳を傾けていました。また、講演後の質疑応答での発言に参加者の関心の高さがうかがえました。

生坂村も犀川を控えているほか、急峻な山に囲まれており、土砂災害にも警戒が必要です。社協でも防災・減災研究会の開催や事業継続計画の策定を通して、村民の皆様とともに災害に備えた取組を進めて参ります。



スライドを使った具体的な話に聞き入る参加者

防災・減災研究会



タブレットやスマホでも使える災福マップ
災害時は機動的に運用できます。

上記の講演に参加された方々を中心にお声がけし、10月24日(火)に「はるかぜ」で防災・減災研究会を開催しました。
この研究会は、「自分事としての防災」を念頭に置き、防災について考えたり話し合ったりする機会を持つことで、地域防災の土台をつくることを目的にしています。
生坂村の特徴として、平日の昼間は若い人が村外に働きに出て、高齢者のみが在村していることが挙げられます。こうした状況を踏まえ、手助けが必要な方の確認に役立つ災害福祉マップについて社協から紹介したほか、災害について肩肘張らない話し合いを行いました。

スポーツ交流会

10月19日(木)に村民グラウンドにて生坂村長寿会連合会と生坂おとこ塾合同によるグラウンドゴルフ大会が開かれました。当日は晴天に恵まれ、30人以上の方々が参加してゲームを楽しみました。

今回は、村民グラウンド周りの土手にもホールを設置し、周囲を一周した後グラウンドを横断するコースとしました。いつもとは違うコース取りは参加者の皆様にも好評でした。
コロナ前でしたら、ゲームの後は懇親会で親睦を深めるところですが、大事をとってお弁当と思いい出を持ち帰っていただきました。



グラウンドゴルフのホールは籠状になっているのでどこにでも設置でき、自由なコース設定が可能です。

令和5年度 つながりの場づくり事業

居場所みーつけた！

10月1日(日)にB&G海洋センターアリアにて、村内在住の18才以下のお子さんご家族を対象に「居場所みーつけた！」と題するイベントが行われました。

このイベントは、教育委員会が主催し、NPO法人ホットライン信州と社協が共催するもので、食料品や物資の無料配布、様々なゲームや遊びのコーナー、防災学習、宿題を教えてもらえる「みんなの学び舎」など、盛り沢山の内容でした。

開催に際しまして、多くの村民の方々からお米や野菜のご寄付をいただきました。おかげさまで、当日参加された皆様からも「助かります。」「などの声が聞かれ、とても好評でした。ご協力誠にありがとうございました。

今年度は、第2回目として、同様の内容を左記の日程で開催する予定です。

日時：令和5年12月3日(日)

午前11時から午後1時まで

場所：B&G海洋センターアリア

※配布用の野菜が不足しています。

ご協力いただける方は、社協までご連絡いただけますと助かります。(☎69-33000)

生坂有償生活援助サービス

「もりびと」視察研修と意見交換

「もりびと」は、高齢者や障がい者などの皆様を感じる生活の中の小さな困り事、例えば「ゴミ出しや電球交換などをもりびと協力会員が有償でお手伝いするサービスです。

同様のサービスが各地の社協で運営されており、11月6日(月)には、もりびと協力会員と社協職員総勢9名で小川村社会福祉協議会に視察と意見交換に行つて参りました。

それぞれの課題や活動の状況など、活発な意見が交わされ、お互いよい刺激になりました。今回学んできたことを今後の活動に生か



し、より良いサービスが提供できたらと思います。もりびとの利用方法については、以下をご覧ください。

「もりびと」の利用方法

- ① 事務局(社協・地域福祉協働係)までご連絡ください。 ☎69-1122
- ② お手伝いの内容等について、ご相談ください。サービス利用前に「利用会員」登録をしていただきます。

- ③ 事務局からサービスを提供していただく「協力会員」に作業依頼をします。

- ④ 協力会員が依頼された作業を行います。

- ⑤ 作業終了後、利用会員から協力会員に実費程度の利用料をお支払いいただきます。

【お手伝いできる内容の一例】

- ◆30分以内の危険を伴わない軽作業が対象となります。

「ゴミ出し 電球の交換 重い物の移動 玄関先の草取り・雪かきなど」

【利用料】

- ◆作業内容により利用料が変わりますので、事務局までお問合せください。

お知らせ・報告 掲示板



非常用電源を整備
(赤い羽根共同募金助成)

高齢者生活福祉センターでは、酸素発生器を使用する利用者様が停電時でも器具を使えるよう、ポータブル電源と太陽光発電パネルを購入しました。この製品は、排気ガスを気にすることなく室内でも安心して使用できます。購入にあたり、皆様からご寄付いただいた赤い羽根共同募金を財源に使わせていただきました。心より感謝申し上げます。

高齢者生活福祉センター ホール貸出します



社協の事業等が無い日にホールの貸出しを行っています。サークル等の集まりにご利用ください。利用希望の方は、予め下記の電話番号にお問合せの上、ご予約下さい。(土日祝は要相談)
☎ 69-1122(高齢者生活福祉センター)

フードバンクをご利用ください

社協では、ご寄付いただいた食料や日用品をストックし、必要な方に提供しています。お米、インスタント麺、缶詰・瓶詰、調味料などをご用意しております。利用を希望される方は、社協までお越しいただくか、電話又はメールでご連絡ください。

連絡先(社協事務局)

☎ 69-3000

✉ info@ikusaka-shakyo.or.jp

赤い羽根共同募金 街頭募金箱



令和5年10月募金額 156円

道の駅に12月31日(水)まで設置しております。

能登地方地震災害義援金

期間	金額(円)
9/1~9/29	378
全期間(6/1~9/29)合計	6,675

上記義援金の募集期間は終了しました。ご協力誠にありがとうございました。

国内災害義援金

期間	金額(円)
10月	601

募金箱をやまなみ荘、社協に設置しております。お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通じて国内被災地に届けられます。

編集後記 前号でご紹介した社協畑の大根ですが、暖かい日が続いたためかスルスクと大きくなり、力士の脚のように立派に成長しました。11月の初めに収穫し、デイサービスの昼食や配食弁当のおかずに使われています。利用者様に喜んでいただけるといいのですが…